

# “声の届く政治”実現へ!! 議会でフル稼働!!

## 市役所1階にコンビニ誘致!



本年7月、市役所1階市民ホールの一部でコンビニエンスストアが営業を開始し、来庁者を初め市民から便利になったと喜ばれています。これは市が行政財産を民間業者に貸し出す事業の一つで、2009年3月、第1回定例会議の代表質問で公明党が提案したものの、5年契約で賃料は年間約150万円です。また、売り上げの5%が市の市民協働ファンドに寄付されることになっており、財政の厳しい状況の中、市有財産の有効活用で市の歳入増につなげることが期待されています。

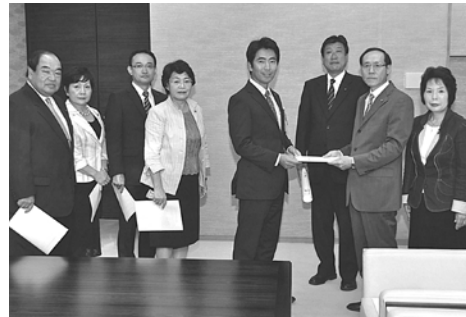
## 平成23年度の予算要望を市長に提出!

10月5日、公明党横須賀市議団は吉田市長に對して23年度予算への要望書を提出しました。

- ① 効率的な行政の確立について
- ② 医療・介護・福祉について
- ③ 子育て・教育環境の整備の充実について
- ④ 環境対策について
- ⑤ 安全・安心のまちづくりについて
- ⑥ 地域コミュニティの活性化について
- ⑦ 地域経済の活性化について

以上の7つを重点施策に掲げました。

また、386の要望項目について財政の厳しい中ですが、実現に向け優先順位を明確にし市民生活を守ることが強く要望しました。



## 第3回定例会 本会議より

## 市長、またも マニフェスト撤回か?!



を視察したところ「朝まで診療のニーズが高いと思えなかった」との認識を示し、実質マニフェストを見直す意向を表明しました。

平成22年9月2日第3回定例会本会議において鈴木真智子市議が一般質問に立ち、市長の政治姿勢について質疑を交わしました。

市長はマニフェストのシンボル施策として救急医療センターの「朝まで診療」を掲げ、現在は午前0時までの診療時間を延長すると公約。

しかし昨年末、市長が夜間に同センター

## 東京湾第三海堡の遺構・保存公開へ



この問題を公明党・室島真貴子市議が本会議で取り上げ、歴史遺産の保存を提案。地元からの強い要望があり、その後古屋範子衆議院議員も衆院予算委員会でも取り上げ、国と横須賀市の協議が整ったことからこの度、夏島緑地内に保存・公開されることになりました。

明治14年から30年の歳月をかけ海上要塞として築造された第3海堡は完成直後の関東大震災で海中に水没。浦賀水道航路に近接していることから、船舶交通の難所として海難事故が多発するようになり、平成19年、海中から引き揚げられ、一時保管されていました。

## 吉田市長が 方針転換!

## 救急医療センター 移転・建て替えへ!!

自身のマニフェストに現在の三春町での改修を掲げていた吉田市長が、これまでの市議会での議論や、運営主体である市医師会からの要望を受けて、当初から計画されていた新港地区への移転・建て替えへと方針を転換しました。財政面の理由から改修を主張していた市長ですが、会議室などの共有スペースを医師会と負担しあうことで財政負担が軽減され、改修より新築の予算の方が下回ったという理由で建て替えへと方針転換しました。

市長のマニフェストに振り回されたこの1年の政治空白の責任を問う声が上がっています。



救急医療センターの新港埠頭建設予定地

## 本格的な「議会改革」が始まりました



地方分権の時代にふさわしい市政の確立に向けて、去る6月、横須賀市議会は「議会基本条例」を制定しました。

全10章からなるもので、一元代表制の一翼を担う存在としての議会や議員の活動原則を明らかにし、また、市民からみてわかりやすい議会を目指すことが謳われています。9月議会では一般質問で一問一答方式が採られ、項目ごとの質疑で傍聴者にもわかりやすい議論が展開されました。